

平成15年度アライグマ対策行動計画概要版

平成15年3月
北海道 環境生活部 環境室 自然環境課



写真-1 牛舎に出没した親子のアライグマ（写真提供：酪農学園大学アライグマ研究会）

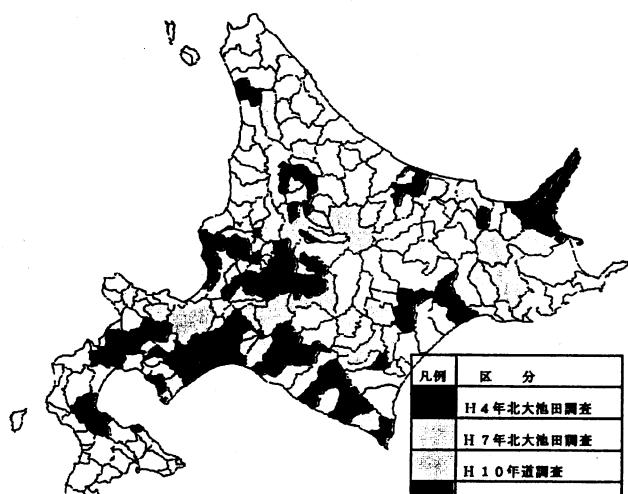


図-1 アライグマの分布の推移（平成4年から13年）

平成4年(1992)には道央のごく一部に分布情報があるだけであったが、7年後の平成13年(2001)には道央の大部分、さらに道東にも分布を拡大している。

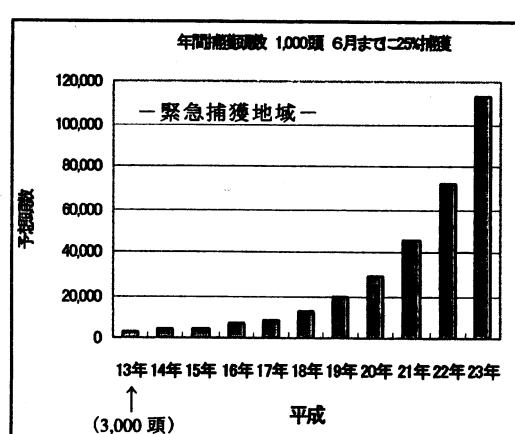


図-2 現在の水準で捕獲した場合の今後の予想

緊急捕獲地域内において、現在の水準で捕獲を継続した場合、密度効果がなければ、10年後の平成23年(2011)には現在の数十倍に増加してしまい、排除は困難である。

「北海道アライグマ対策基本方針」で以下のこと等を定めた。

- ①アライグマ対策の目的を「農業等被害の防止」、「健康被害の防止」、「生物多様性の保全」とする。
- ②アライグマ対策の最終目標を「野外からの排除」とする。
- ③道民、被害農家、狩猟者、市町村等と協力体制を構築する。
- ④目的達成のために、別に定める「アライグマ対策行動計画」に基づき、捕獲の計画的で積極的な実施を図る。

平成15年度アライグマ対策行動計画概要

はじめに

北海道アライグマ対策基本方針に基づき、平成15年度行の動計画を定める。行動計画においては捕獲資料が蓄積された道央の一部の地域について、生息頭数を推定し、具体的な計画等を作成した。行動計画は現状に合わないことが判明した場合には、基準年（平成13年(2001)末）にさかのぼり見直すなど、フィードバック管理に努めることとする。

第I章 アライグマ対策の対象地域

アライグマの分布情報（図-1）や捕獲数（表-2）さらに捕獲データの蓄積等に応じて、全道を3地域に区分した。（図-2）

(1) 緊急捕獲地域 16市町村

石狩支庁	札幌市・北広島市・江別市・恵庭市・千歳市	5市町村
空知支庁	岩見沢市・夕張市・栗山町・栗沢町・南幌町 長沼町・由仁町・北村	8市町村
胆振支庁	追分町・早来町・厚真町	3市町村

(2) 要注意地域 80市町村

石狩支庁	緊急捕獲地域を除く管内の全市町村	5市町村
空知支庁	緊急捕獲地域を除く管内の全市町村	19市町村
胆振支庁	緊急捕獲地域を除く管内の全市町村	12市町村
日高支庁	管内の全市町村	9市町村
後志支庁	管内の全市町村	20市町村
釧路支庁	管内の全市町村	10市町村
根室支庁	管内の全市町村	5市町村

(3) その他の地域 116市町村

緊急捕獲地域と要注意地域を除く全道の市町村	116市町村
-----------------------	--------

*緊急捕獲地域

捕獲実績やCPUEなどの捕獲資料の蓄積がある地域を選定。

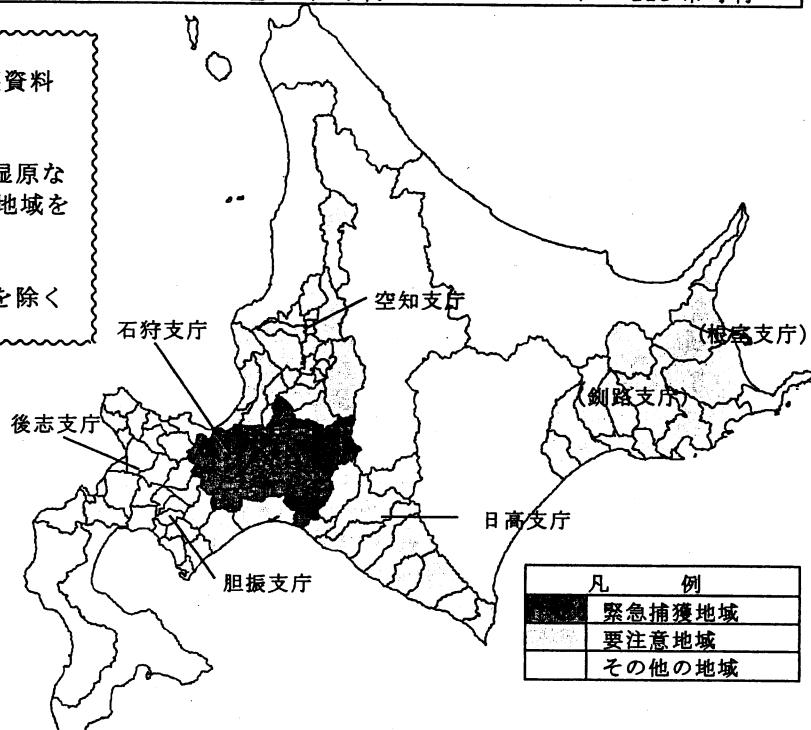
*要注意地域

捕獲実績がある地域と釧路湿原などの特に重要な地域を含む地域を支庁単位で選定。

*その他の地域

緊急捕獲地域と要注意地域を除く全道の市町村。

空知支庁管内と胆振支庁管内的一部分の市町村では、捕獲資料の一部が不足しているため生息密度が推定できない等の理由から、緊急捕獲地域から除外した。情報が整い次第、緊急捕獲地域に編入する。



(第I章まとめ)

図-3 地域区分

- ①農業被害は、平成10年(1998)度以降は3,000万円台で推移している。
- ②捕獲頭数は一貫して増加し、平成13年(2001)度には970頭程度になっている。
- ③アライグマ対策の目標設定のために全道を3地域に区分した。
(緊急捕獲地域・要注意地域・その他の地域)

第Ⅲ章 各地域の目標設定

第Ⅰ章では、分布情報等から3地域に区分を行ったが、第Ⅱ章では3地域の特徴を明らかにした上(図-3,4)で、排除に向けてそれぞれの目標を設定した。

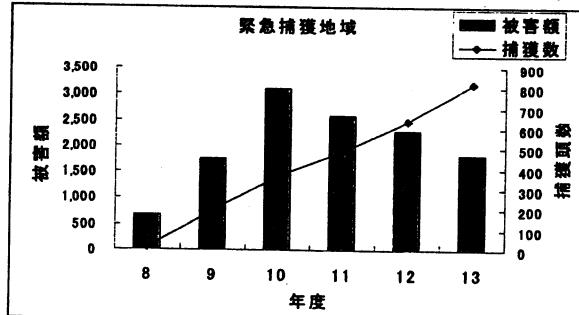


図-4 緊急捕獲地域の農業被害額等の推移

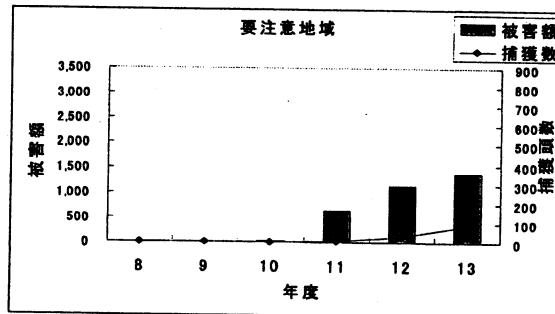


図-5 要注意地域の農業被害額等の推移

(第Ⅱ章まとめ)

三地域の排除計画

緊急捕獲地域	10カ年で排除を目指す。そのためには、6月までの捕獲割合を5割まで増加し、平成15、16年(2004, 2004)には2,000頭捕獲する必要がある。生息頭数の推定等は第Ⅲ章で行う。
要注意地域	緊急捕獲地域に準じて捕獲を実施し、分布拡大を阻止し、野外からの排除を目指す。
その他の地域	調査精度の向上と、アライグマの早めの捕獲を実施し、野外からの排除を目指す。

第Ⅲ章 緊急捕獲地域におけるアライグマの生息頭数の推定

III-1 牛頭数の推定

平成 13 年(2001)末推定頭数	オス		メス	
	2歳以上	1歳	2歳以上	1歳
3,000頭(±1,000)	900頭	600頭	900頭	600頭
100%	30%	20%	30%	20%

緊急捕獲地域の中で
捕獲があつた 85 メッシュ
で頭数推定を行つた。

III-2 メッシュ別の密度区分

図-5にCPUE(捕獲効率)等から推定した緊急捕獲地域の密度区分図を示した。

区域の外側に生息密度の高い場所があり、緊急捕獲地域の拡大を阻止するために、後特に注意が必要である。

CPUE(一定の捕獲努力
力量当たりの捕獲数)

CPUE=捕獲頭数 ÷ 捕獲努力
力量として求めた。

捕獲努力量はワナ数×日数

捕獲効力量はシノ数入日数

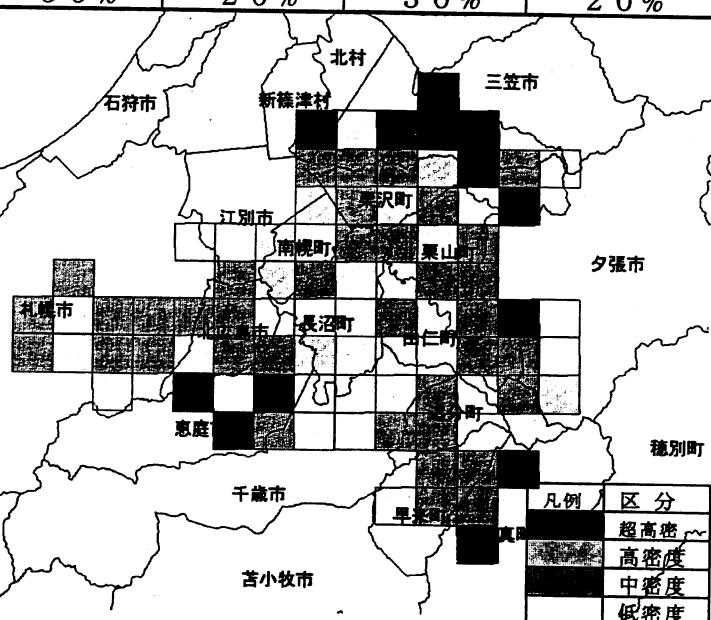


図-6 緊急捕獲地域の密度区分図

III-3 行動計劃

(1) 行動計画の基礎

アライグマが生息している全ての地域で捕獲を継続すること